



## ハードウェア リファレンス ガイド HP Compaq Business Desktop dc7100 MT

製品番号 : 360225-291

**2004年5月**

このガイドでは、このコンピュータの機能およびハードウェアのアップグレードについて説明します。

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Microsoft、MS-DOS、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



**警告：**その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

---



**注意：**その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

---

**ハードウェア リファレンス ガイド**  
HP Compaq Business Desktop dc7100 MT  
初版 2004年5月  
製品番号：360225-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

---

# 目次

## 1 コンピュータの機能

標準構成の機能	1-1
フロント パネルの各部	1-2
リア パネルの各部	1-3
キーボード	1-4
Windowsロゴ キーの使用	1-5
マウスの特殊機能	1-5
シリアル番号および製品識別番号の記載位置	1-6
縦置きから横置きへの変更	1-7
横置きから縦置きへの変更	1-10

## 2 ハードウェアのアップグレード

保守機能	2-1
警告および注意	2-1
スマート カバー ロック	2-2
Smart Cover FailSafeキーの使用	2-2
コンピュータのアクセス パネルの取り外し	2-4
コンピュータのアクセス パネルの取り付け	2-5
フロント パネルの取り外し	2-6
フロント パネルの取り付け	2-7
ドライブ ベイ カバーの取り外し	2-8
メモリの増設	2-9
DIMM	2-9
DDR-SDRAM DIMM	2-9
DIMMソケットへの取り付け	2-11
DDR-SDRAM DIMMの取り付け	2-13
拡張カードの取り付けまたは取り外し	2-15
ドライブの位置	2-21
ドライブの増設	2-22
オプティカル ドライブまたはその他のリムーバブル メディア ドライブの取り付け	2-23
3.5インチ ドライブ ベイへのSATAハードディスク ドライブの取り付け	2-26
ドライブ ベイからのドライブの取り外し	2-29
マルチベイ オプションの使い方	2-33
マルチベイ ドライブの「ホットプラグ」または「ホットスワップ」	2-34
マルチベイの固定ネジの取り外し	2-35
マルチベイへのドライブの挿入	2-36
マルチベイからのドライブの取り外し	2-37
マルチベイ用ハードディスク ドライブのパーティション分割およびフォーマット	2-38

**A 仕様****B バッテリーの交換****C セキュリティ ロック**

セキュリティ ロックの取り付け .....	C-1
ケーブル ロック .....	C-1
南京錠 .....	C-2
ユニバーサル シャシー クランプ ロック .....	C-3

**D 静電気対策**

静電気による損傷の防止 .....	D-1
アースの方法 .....	D-2

**E コンピュータの手入れと運搬時の注意**

コンピュータの手入れ .....	E-1
オプティカル ドライブの使用上の注意 .....	E-2
操作および取り扱いに関する注意 .....	E-2
クリーニングの際の注意 .....	E-2
安全にお使いいただくためのご注意 .....	E-2
運搬時の注意 .....	E-3

**索引**

---

## コンピュータの機能

### 標準構成の機能

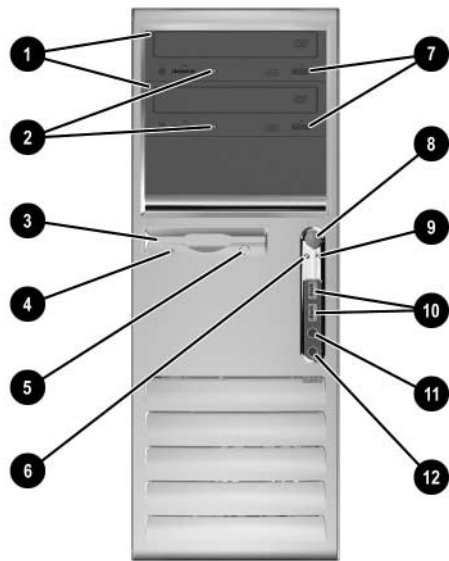
縦置き/横置き共用型コンピュータは、簡単に横置き構成に変えることができます。コンピュータの機能は、モデルにより異なる場合があります。お使いのコンピュータに取り付けられているハードウェアおよびインストールされているソフトウェアの一覧を表示するには、[Diagnostics for Windows] ユーティリティを実行します。このユーティリティの使用手順については、Documentation CD（ドキュメンテーションCD）に収録されている『トラブルシューティングガイド』を参照してください。




縦置き/横置き共用型コンピュータの構成

# フロント パネルの各部

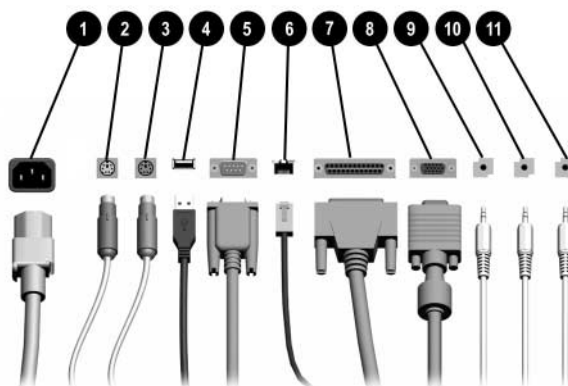
ドライブの構成はモデルによって異なります。



## フロント パネルの各部

❶	オブティカルドライブ	❷	オブティカル ディスク取り出しボタン
❸	オブティカルドライブ ランプ	❸	電源ボタン
❹	ディスケット ドライブ (オプション)	❹	電源ランプ
❺	ディスケット ドライブ ランプ (オプション)	❺	USB (Universal Serial Bus) ポート
❻	ディスケット取り出しボタン (オプション)	❻	ヘッドフォン コネクタ
❼	ハードディスク ドライブ ランプ	❼	マイク コネクタ
 オブティカル ドライブは、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD+R/RW、またはCD-RW/DVDコンボ ドライブを指します。			

## リア パネルの各部



### リア パネルの各部

①	電源コード コネクタ	⑦	🖨️ パラレル コネクタ
②	🖱️ PS/2マウス コネクタ	⑧	🖥️ モニタ コネクタ
③	🌨️ PS/2キーボード コネクタ	⑨	🎧 ヘッドフォン/ラインアウト コネクタ
④	🔌 USB (Universal Serial Bus) コネクタ	⑩	🎵 ラインイン オーディオ コネクタ
⑤	🔌 〇 〇 〇 シリアル コネクタ	⑪	🎤 マイク コネクタ
⑥	🌐 RJ-45ネットワーク コネクタ		

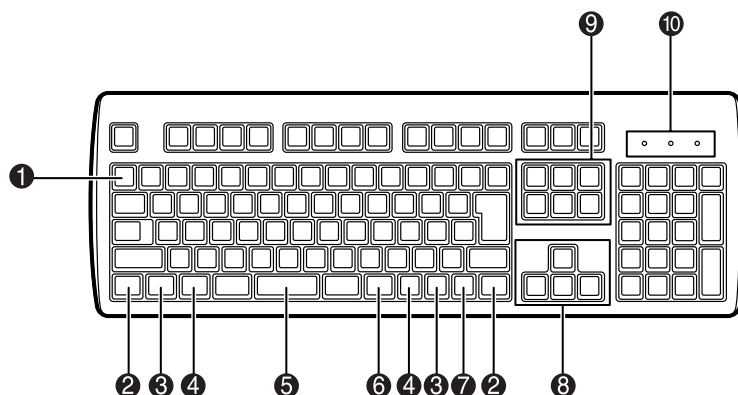


装備されているコネクタの種類や数は、モデルにより異なる場合があります。

お使いのコンピュータにPCI Expressグラフィックス カードが取り付けられている場合、システム ボード上のモニタ コネクタは使用できません。

標準のPCIグラフィックス カードが取り付けられている場合、カードのコネクタおよびシステム ボードのコネクタを同時に使用することができます。両方のコネクタを使用するには、一部の設定をコンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティで変更する必要があります。起動順序について詳しくは、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

## キーボード



### キーボードの各部

①	[半角/全角]キー	日本語入力システムのオン/オフを切り替えます
②	[Ctrl]キー	別のキーと組み合わせて使用します。この機能は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります
③	[Windows]キー	Microsoft® Windows®の[スタート]メニューを表示します。他の機能を実行するために他のキーと組み合わせて使用します
④	[Alt]キー	別のキーと組み合わせて使用します。このキーの機能は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります
⑤	スペース バー	日本語入力がオフのときに押すと、スペース（空白）を入力したり、ある選択肢をキーボードから選択したりできます。日本語入力がオンのときに入力した文字を確定する前に押すと、漢字などに変換できます
⑥	[カタカナ ひらがな]キー	日本語入力がオンのときに[Alt]キーを押しながら[カタカナ ひらがな]キーを押すことにより、入力モード（ローマ字入力とかな入力）を切り替えられます
⑦	アプリケーション キー	マウスの右ボタンと同様にMicrosoft Officeアプリケーション内でポップアップメニューを表示させるために使用します。また、他のアプリケーションソフトウェアで別の機能を実行することもできます
⑧	矢印キー	文書ファイルやワークシート、またはWebサイト内を移動するときに使用します。マウスを使わずにキーボードのキーを押すことによって、画面内で上下左右に移動できます
⑨	編集キー	[Insert]、[Home]、[Page Up]、[Delete]、[End]および[Page Down]の各キーがあります
⑩	ステータス ランプ	コンピュータおよびキーボード設定のステータスを示します（Num Lock、Caps Lock、およびScroll Lock）



## Windowsロゴ キーの使用

Windowsロゴ キーを他のキーと組み合わせて、Windowsオペレーティング システムで利用できるさまざまな機能を実行することができます。Windows ロゴ キーの位置については、「[キーボード](#)」を参照してください。

<b>Windowsロゴ キー</b>	Windowsの[スタート]メニューを表示または非表示にします
<b>Windowsロゴ キー+[D]</b>	デスクトップを表示します
<b>Windowsロゴ キー+[M]</b>	開いているすべてのアプリケーションを最小化します
<b>[Shift]+Windowsロゴ キー+[M]</b>	最小化したすべてのアプリケーションを元に戻します
<b>Windowsロゴ キー+[E]</b>	エクスプローラの[マイ コンピュータ]を起動します
<b>Windowsロゴ キー+[F]</b>	ファイルやフォルダの検索を起動します
<b>Windowsロゴ キー+[Ctrl]+[F]</b>	ほかのコンピュータの検索を起動します
<b>Windowsロゴ キー+[F1]</b>	Windowsのヘルプ画面を表示します
<b>Windowsロゴ キー+[L]</b>	ネットワーク ドメインに接続している場合は、コンピュータがロックされます。ネットワーク ドメインに接続していない場合は、ユーザの切り替えが可能になります
<b>Windowsロゴ キー+[R]</b>	[ファイル名を指定して実行]ダイアログ ボックスを表示します
<b>Windowsロゴ キー+[U]</b>	ユーティリティ マネージャを起動します
<b>Windowsロゴ キー+[Tab]</b>	タスクバーのボタンを切り替えます

## マウスの特殊機能

ほとんどのソフトウェア アプリケーションはマウスをサポートしていますが、マウス ボタンに割り当てられる機能は、使用しているソフトウェア アプリケーションによって異なります。

## シリアル番号および製品識別番号の記載位置

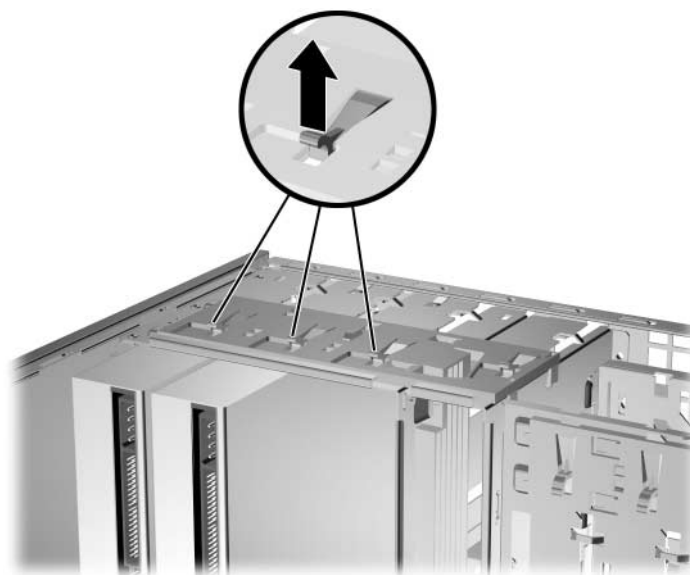
各コンピュータのカバーの上部には、固有のシリアル番号ラベルおよび製品識別番号ラベルが付いています。サポート窓口へのお問い合わせの際には、これらの番号をお手元に用意しておいてください。



シリアル番号および製品識別番号の記載位置

## 縦置きから横置きへの変更

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. 「**コンピュータのアクセス パネルの取り外し**」の手順に従ってコンピュータのアクセス パネルを取り外します。
4. 「**フロント パネルの取り外し**」の手順に従ってフロント パネルを取り外します。
5. 5.25インチ ドライブ ベイに装着されているドライブから、電源ケーブルや信号ケーブルをすべて抜き取ります。
6. 5.25インチ ドライブ ベイからドライブを取り出すには、緑色のラッチ ドライブ ブラケットのリリース タブを引きます。リリース タブを引き上げながら、ドライブをドライブ ベイから引き出します。それぞれの5.25インチ ドライブに対して、この手順を繰り返します。



ドライブ ベイからの5.25インチ ドライブの取り外し（縦置き時）

7. ドライブをシャーシに取り付けなおす前に、取り付けるドライブが内蔵の3.5インチ ドライブに対して垂直になるようにしてください。ドライブの底面が緑色のラッチ ドライブ ブラケットと平行になっている必要があります。



**横置き時のドライブの取り付け**

8. 空いているドライブ ベイのうちで一番上のベイにドライブをゆっくりとスライドさせて、所定の位置に収まるまで挿入します。ドライブが正しく挿入されると、ドライブロックにより固定されます。それぞれのドライブに対して、この手順を繰り返します。



**注意：**一番下の5.25インチ ドライブ ベイは、上部の2つのベイより奥行きが短くなっています。一番下のベイは、ドライブの背面に接続するケーブルを含めた奥行きが17 cm以下のドライブに対応しています。光学ドライブやマルチベイ ドライブなど、それより大きいドライブを一番下のドライブに無理に押し込まないでください。無理に押し込むと、ドライブおよびシステム ボードが破損するおそれがあります。

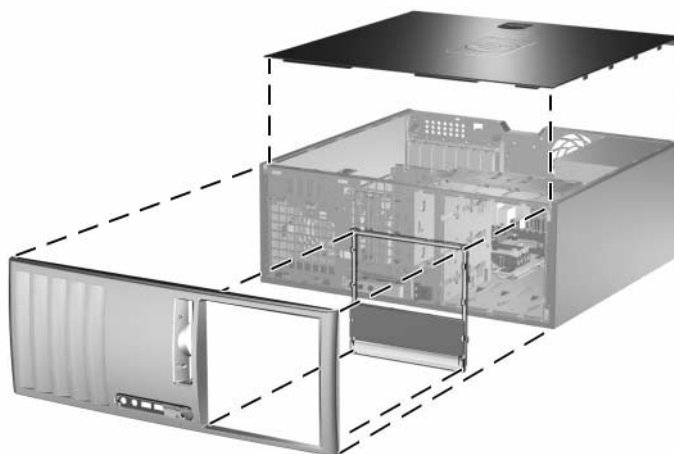
ドライブを取り付ける際に強く力を加えすぎると、ドライブが破損することがあります。

9. すべての電源ケーブルおよびデータ ケーブルを5.25インチ ドライブ ベイ内のドライブに接続しなおします。
10. 「ドライブ ベイ カバーの取り外し」の手順に従ってサブパネルを取り外します。



**注意:** サブパネルは、まっすぐな状態を保ったままフロントパネルから取り外してください。サブパネルを引き出すときに傾けると、サブパネルをフロントパネルに取り付けるためのピンが破損することがあります。

11. サブパネル内のドライブカバーを、横置き構成に合わせて正しい向きに取り付けなおします。
12. ロゴがサブパネルの下部に配置されるようにサブパネルを180°回転させて、フロントパネル内の元の位置にはめ込みます。

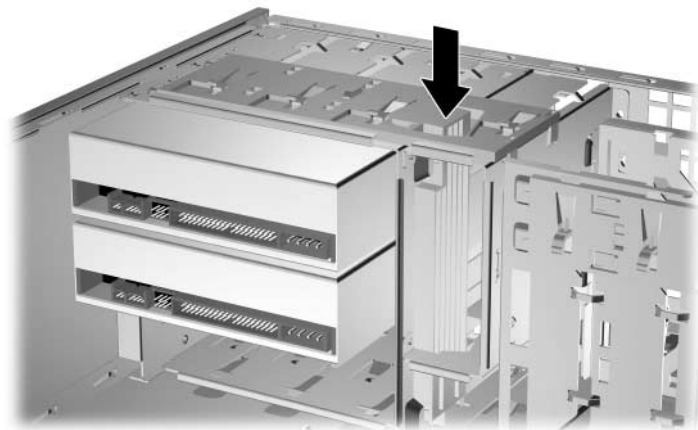


#### 縦置きから横置きへの変更

13. フロントパネルおよびコンピュータのアクセスパネルを取り付けなおします。
14. 外部装置を接続しなおします。
15. 通常スマートカバーロックを使用している場合は、コンピュータセットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマートカバーセンサを有効にします。

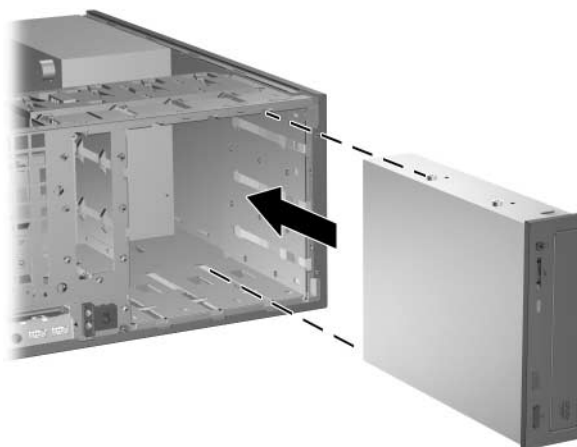
## 横置きから縦置きへの変更

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. 「[コンピュータのアクセス パネルの取り外し](#)」の手順に従って、コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
4. 「[フロント パネルの取り外し](#)」の手順に従って、フロント パネルを取り外します。
5. 5.25インチ ドライブ ベイに装着されているドライブから、電源ケーブルや信号ケーブルをすべて抜き取ります。
6. 5.25インチ ドライブ ベイからドライブを取り外すには、下の図のように、短い黄色のドライブロックを押し下げます。ドライブロックを押し下げながら、ドライブ ベイからドライブを引き出します。



ドライブ ベイからの5.25インチ ドライブの取り外し (横置き時)

7. ドライブをシャーシに取り付ける前に、取り付けるドライブが内蔵の3.5インチのドライブと同じ向きになるようにしてください。ドライブの底面が黄色のドライブブロックと平行になっている必要があります。



#### 縦置き時のドライブの取り付け

8. 空いているドライブ ベイのうちで一番上のベイにドライブをゆっくりとスライドさせて、所定の位置に収まるまで挿入します。ドライブが正しく挿入されると、ドライブブロックにより固定されます。それぞれのドライブに対して、この手順を繰り返します。



**注意：**一番下の5.25インチ ドライブ ベイは、上部の2つのベイより奥行きが短くなっています。一番下のベイは、ドライブの背面に接続するケーブルを含めた奥行きが17 cm以下のドライブに対応しています。光学ドライブやマルチベイ ドライブなど、それより大きいドライブを一番下のドライブに無理に押し込まないでください。無理に押し込むと、ドライブおよびシステム ボードが破損するおそれがあります。

ドライブを取り付ける際に強く力を加えすぎると、ドライブが破損することがあります。

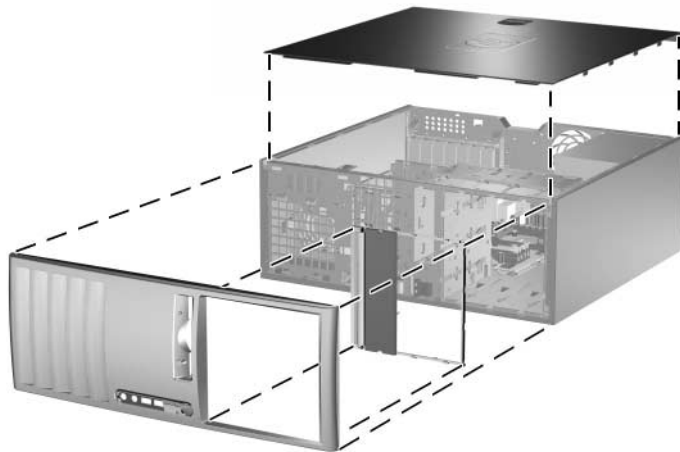
9. すべての電源ケーブルおよびデータ ケーブルを5.25インチ ドライブ ベイ内のドライブに接続しなします。

10. 「ドライブ ベイ カバーの取り外し」の手順に従ってサブパネルを取り外します。



**注意:** サブパネルは、まっすぐな状態を保ったままフロント パネルから取り外してください。サブパネルを引き出すときに傾けると、サブパネルをフロント パネルに取り付けるためのピンが破損することがあります。

11. サブパネル内のドライブ カバーを、縦置き構成に合わせて正しい向きに取り付けなおします。
12. ログがサブパネルの下部に配置されるようにサブパネルを180° 回転させて、フロント パネル内の元の位置にはめ込みます。



**横置きから縦置きへの変更**

13. フロント パネルおよびコンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。
14. 外部装置を接続しなおします。
15. 通常スマート カバー ロックを使用している場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマート カバー センサを有効にします。



---

## ハードウェアのアップグレード

### 保守機能

このコンピュータには、アップグレードおよび保守を容易にする機能が組み込まれています。この章で説明する取り付け手順のほとんどでは、道具を使う必要がありません。

### 警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。



**警告：**感電や火傷の危険がありますので、電源コードがACコンセントから抜き取ってあること、および本体内部の温度が下がっていることを確認してください。



**警告：**感電や火災が発生したり、装置を損傷したりする場合がありますので、電話回線のモジュラ ジャックを本体のリア パネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。



**注意：**静電気の放電により、コンピュータやオプションの電気部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、「[付録D 静電気対策](#)」を参照してください。



**注意：**コンピュータのカバーを取り外す前に、コンピュータの電源が切られ、電源コードがACコンセントから抜かれていることを確認してください。

## スマート カバー ロック



スマート カバー ロックは、一部のモデルにのみ含まれるオプションの機能です。

---

スマート カバー ロックはソフトウェアで制御可能なカバー ロックであり、セットアップパスワードによって制御されます。このロックによって、承認されていないユーザによるコンピュータ内部のコンポーネントへの不正なアクセスを防ぐことができます。コンピュータは、スマート カバー ロックがロックされていない状態で出荷されます。スマート カバー ロックをロックする方法については、Documentation CDに収録されている『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください。

## Smart Cover FailSafeキーの使用

スマート カバー ロックを使ってコンピュータをロックしたまま、パスワードを入力できなくなってしまった場合、コンピュータ本体のカバーを開けるにはSmart Cover FailSafeキーが必要です。コンピュータ内部のコンポーネントにアクセスするためにSmart Cover FailSafe キーが必要となるのは、次のような場合です。

- 停電
- 起動障害
- PC部品（プロセッサや電源など）障害
- パスワードを忘れてしまった場合



**注意：**Smart Cover FailSafeキーは、HPが提供する専用ツールです。このキーが必要になる前に、あらかじめご用意なさることをお勧めします。

---

FailSafeキーの入手については、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

スマート カバー ロックでロックされているアクセス パネルを開くには、以下の手順に従って操作します。

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. Smart Cover FailSafeキーを使用して、スマート カバー ロックをシャードに固定している2本の不正防止ネジを取り外します。



スマート カバー ロックの不正防止ネジの取り外し

4. アクセス パネルを取り外します。[「コンピュータのアクセス パネルの取り外し」](#)を参照してください。

スマート カバー ロックを装着しなおすには、不正防止ネジでロックを所定の位置に固定します。

## コンピュータのアクセス パネルの取り外し

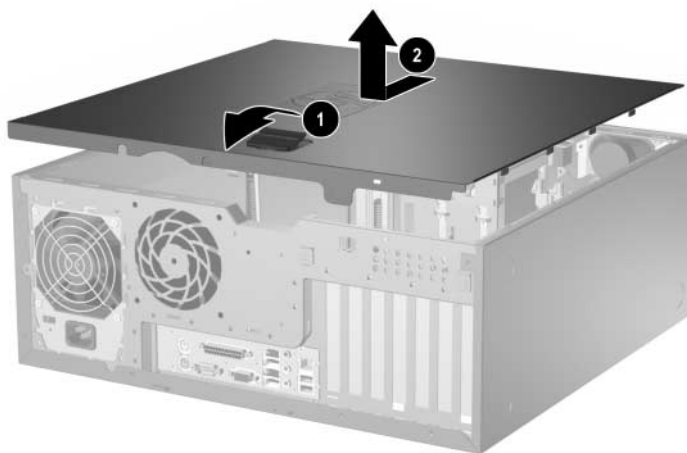
1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。



**注意：**コンピュータのアクセス パネルを取り外す前に、コンピュータの電源が切れ、電源コードがACコンセントから抜かれていることを確認してください。

---

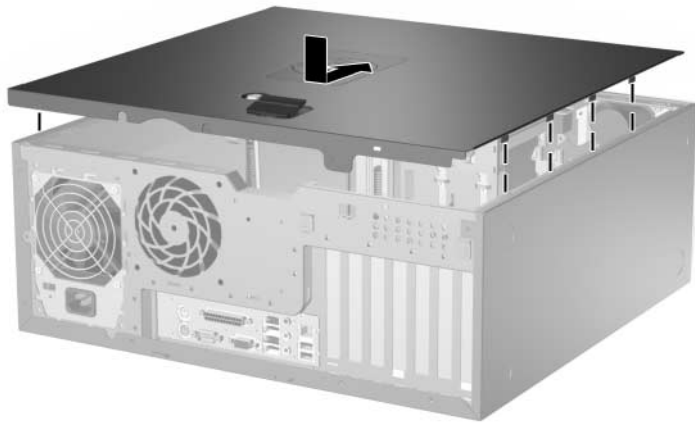
4. コンピュータの広い面を下にして、コンピュータを置きます。
5. アクセス パネルのハンドルを引き上げ①、アクセス パネルを後方へ約 2.5 cmスライドさせてから持ち上げて、シャーシから取り外します②。



コンピュータのアクセス パネルの取り外し

## コンピュータのアクセス パネルの取り付け

1. コンピュータの広い面を下にして、コンピュータを置きます。
2. アクセス パネルのタブとシャーシのスロットの位置を合わせてから、正しい位置にロックされるまでアクセス パネルを手前にスライドさせます。

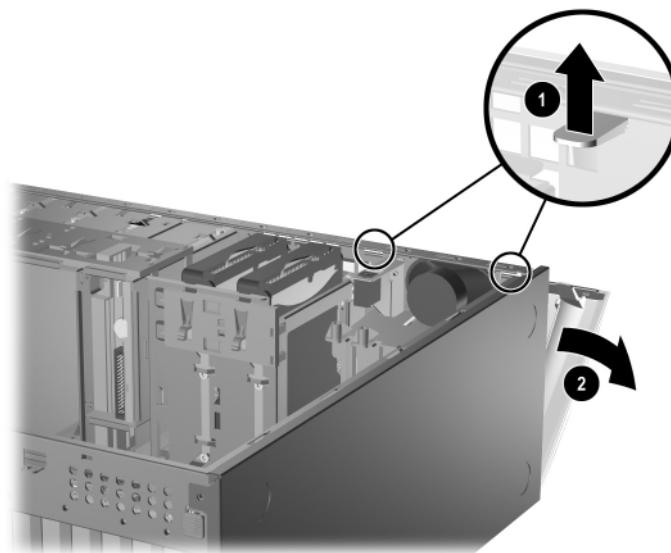


### コンピュータのアクセス パネルの取り付け

3. 通常スマート カバー ロックを使用している場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマート カバー センサを有効にします。

## フロント パネルの取り外し

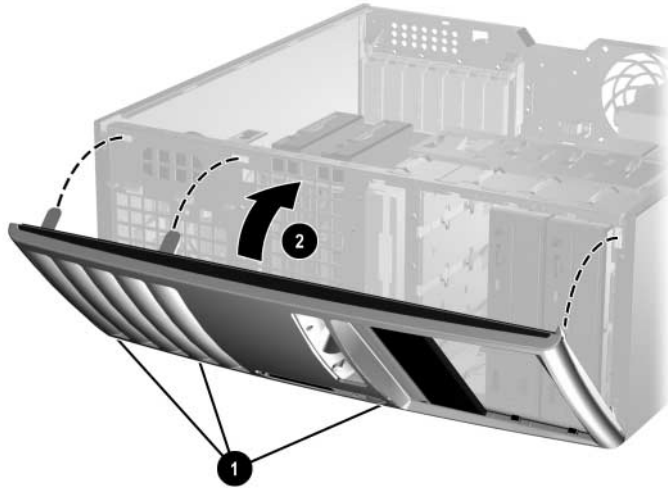
1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
4. 2つのリリース タブを押し上げ①、矢印の方向にフロント パネルを傾けてシャーシから取り外します②。



フロント パネルの取り外し

## フロント パネルの取り付け

フロント パネルをシャーシに取り付けなおすときは、ヒンジを正しい位置に合わせてから❶元の位置に取り付けます❷。



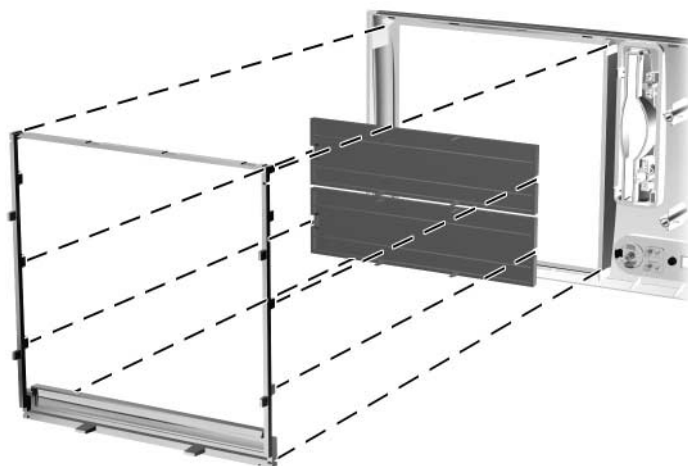
フロント パネルの取り付け

## ドライブ ベイ カバーの取り外し

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. コンピュータのアクセス パネルを取り外し、次にフロント パネルを取り外します。
4. ドライブ ベイ カバーが内側に固定されているサブパネルをフロント パネルからゆっくりと引き出し、目的のドライブ ベイ カバーを取り外します。



**注意:** サブパネルは、まっすぐな状態を保ったままフロント パネルから取り外してください。サブパネルを引き出すときに傾けると、サブパネルをフロント パネルに取り付けるためのピンが破損することがあります。



サブパネルからのドライブ ベイ カバーの取り外し (横置き時)



サブパネルを取り付けなおす際には、位置合わせのピンおよび残りのドライブ ベイ カバーの方向が正しくなっていることを確認してください。サブパネルを正しい方向に取り付けると、サブパネルのロゴは下部に配置されます。



## メモリの増設

お使いのコンピュータは、ダブルデータレートシンクロナスDRAM (DDR-SDRAM) デュアルインラインメモリモジュール (DIMM) を装備しています。

### DIMM

システムボード上にあるメモリソケットには、業界標準のDIMMを4つまで取り付けることができます。これらのメモリソケットには、少なくとも1つのDIMMが標準装備されています。最大容量のメモリ構成にするために、高性能デュアルチャネルモードでコンフィギュレーションされたメモリを4GBまで増設できます。

### DDR-SDRAM DIMM

お使いのコンピュータでDDR-SDRAM DIMMがサポートされている場合、システムを正常に動作させるためには、必ず以下の条件を満たすDIMMを使用してください。

- 業界標準の184ピン
- アンバッファードPC2700 333 MHzまたはPC3200 400 MHzに準拠している
- 2.5ボルトDDR-SDRAM DIMM

DDR-SDRAM DIMMは、以下の条件も満たしている必要があります。

- CASレイテンシが2.5または3.0 (CL=2.5またはCL=3.0) の動作をサポートしている
- JEDECのSPD情報が含まれている

さらに、お使いのコンピュータでは以下の機能やデバイスがサポートされません。

- 256メガビット、512メガビット、および1ギガビットの非ECCメモリテクノロジー
- 片面および両面DIMM

- ×8および×16 DDRデバイスで構成されたDIMM。×4 SDRAMで構成されたDIMMはサポートされない

サポートされるメモリ周波数でシステムを動作させるには、以下のプロセッサ バス周波数が必要になります。

メモリ周波数	必要なプロセッサ バス周波数
333 MHz	533 MHzまたは800 MHz
400 MHz	800 MHz

メモリ周波数が、サポートされないプロセッサ バス周波数とペアになっている場合、システムはサポートされる最高のメモリ速度で動作します。たとえば、400 MHzのDIMMが533 MHzのプロセッサ バスとペアになっている場合、システムはサポートされる最高のメモリ速度である400 MHzで動作します。



サポートされないDIMMが取り付けられている場合、システムは起動しません。

特定のコンピュータのプロセッサ バス周波数を判断する方法については、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

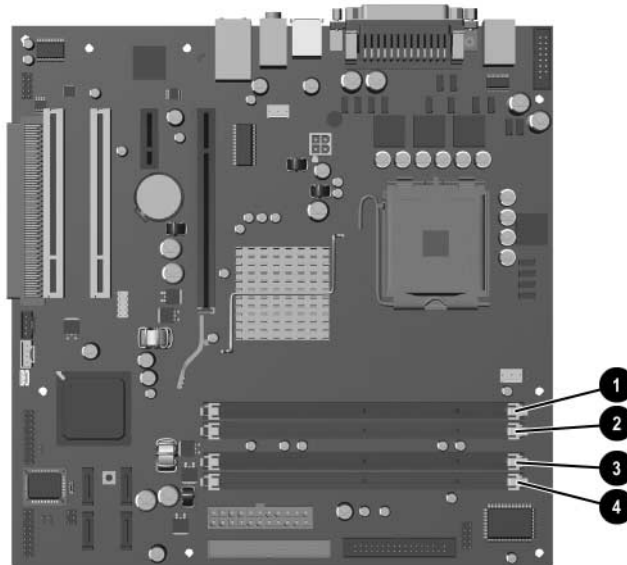
## DIMMソケットへの取り付け

取り付けられているDIMMに応じて、システムは自動的にシングル チャネルモード、デュアル チャネルの非対称モード、またはより高性能なデュアルチャネルのインタリーブ モードで動作します。

- 1つのチャネルの DIMM ソケットにのみ DIMM が取り付けられている場合、システムはシングル チャネル モードで動作します。
- チャネルAのDIMMの合計メモリ容量とチャネルBのDIMMの合計メモリ容量が同じでない場合、システムはデュアル チャネルの非対称モードで動作します。
- チャネルAのDIMMの合計メモリ容量とチャネルBのDIMMの合計メモリ容量が同じ場合、システムはより高性能なデュアル チャネルのインタリーブ モードで動作します。両方のチャネルで、取り付けるDIMMの性能やデバイス自体の幅が異なっても構いません。たとえば、チャネルAに256 MBのDIMMが2つ、チャネルBに512 MBのDIMMが1つ取り付けられている場合、システムはインタリーブ モードで動作します。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いDIMMによって決定されます。たとえば、システムに333 MHzのDIMMおよび400 MHzのDIMMが取り付けられている場合、システムは2つのDIMMのうち遅い方の速度で動作します。

コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用して、お使いのコンピュータの動作モードを確認できます。ユーティリティの使い方については、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

システム ボードには4つのDIMMソケットがあり、1つのチャンネルにつき2つのソケットがあります。ソケットにはXMM1、XMM2、XMM3、およびXMM4の番号が付けられています。ソケットXMM1およびXMM2はメモリ チャンネルAで動作し、ソケットXMM3およびXMM4はメモリ チャンネルBで動作します。



DIMMソケットの位置

番号	説明	ソケットの色
①	DIMMソケットXMM1、チャンネルA	黒
②	DIMMソケットXMM2、チャンネルA	青
③	DIMMソケットXMM3、チャンネルB	黒
④	DIMMソケットXMM4、チャンネルB	青

## DDR-SDRAM DIMMの取り付け



**注意：**お使いのメモリ モジュール ソケットの接点には、金メッキが施されています。メモリをアップグレードする際に、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリ モジュールは金メッキのものを使用してください。



**注意：**静電気の放電により、コンピュータやオプションのカードが破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、「[付録D 静電気対策](#)」を参照してください。



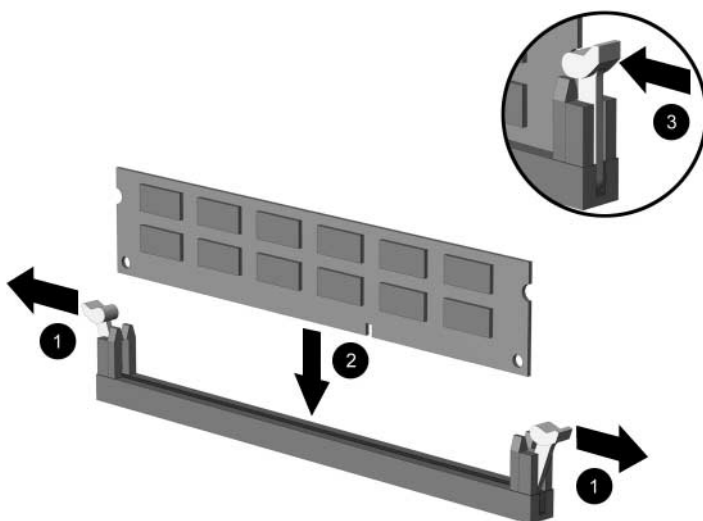
**注意：**モジュールの破損を防止するため、メモリ モジュールを取り扱う際は、金属製の接点に触れないでください。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
4. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
5. システム ボード上にあるメモリ モジュール ソケットの位置を確認します。



**警告：**火傷の危険がありますので、必ず、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してから、次の手順に進んでください。

6. メモリ モジュール ソケットの両方のラッチを開き①、メモリ モジュールをソケットに差し込みます②。



DIMMの取り付け



メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。モジュールのノッチ (切れ目) をメモリ ソケットのタブに合わせます。



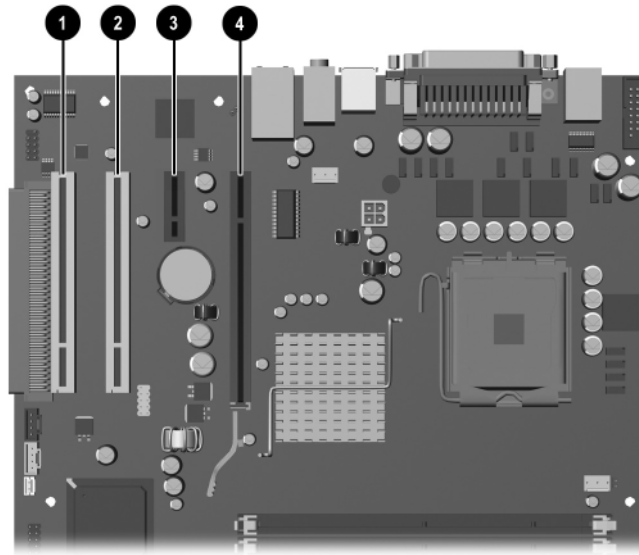
最高のパフォーマンスが得られるようにするには、チャンネルAのメモリ容量がチャンネルBのメモリ容量と同じになるように、メモリ モジュールを取り付けてください。たとえば、XMM1ソケットにDIMMが1つ取り付けられているときに2つ目のDIMMを増設する場合は、XMM1ソケットのDIMMと同じメモリ容量のDIMMをXMM3ソケットまたはXMM4ソケットに取り付けることをお勧めします。

7. モジュールをソケットに押し入れ、モジュールが完全に挿入されて正しく収まっていること、およびラッチが閉じていること③を確認します。
8. 取り付けるすべてのモジュールに対して、手順6および手順7を繰り返します。
9. アクセス パネルを取り付けなおします。
10. 通常スマート カバー ロックを使用している場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマート カバー センサを有効にします。

次回コンピュータの電源を入れたときに、増設メモリが自動的に認識されます。

## 拡張カードの取り付けまたは取り外し

お使いのコンピュータには、最大17.5 cmの長さの拡張カードを取り付けることができるPCI拡張スロットが2基あります。また、PCI Express x1拡張スロットとPCI Express x16拡張スロットも、それぞれ1基ずつあります。



拡張スロットの位置

番号	説明
①	PCI拡張スロット
②	PCI拡張スロット
③	PCI Express x1 拡張スロット
④	PCI Express x16 拡張スロット



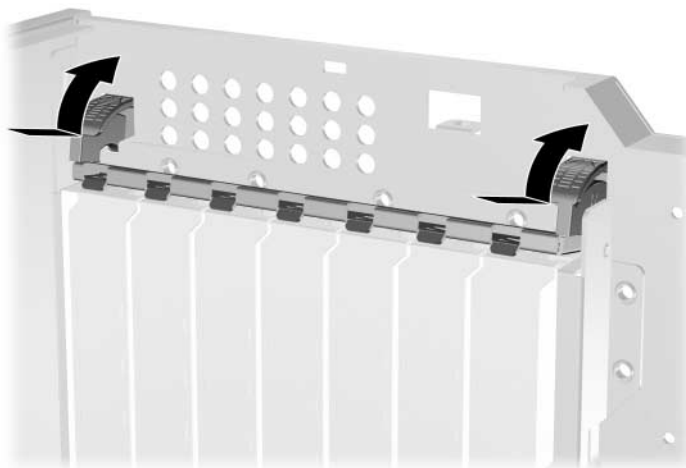
モデルによってはオプションのPCIエクステンダが付属しており、システムボードのPCI拡張スロットを2基増設して合計4基にすることができます。



PCI Express x16拡張スロットには、PCI Express x1、x4、x8、またはx16の拡張カードを取り付けることができます。

拡張カードを取り付けるには、以下の手順で操作します。

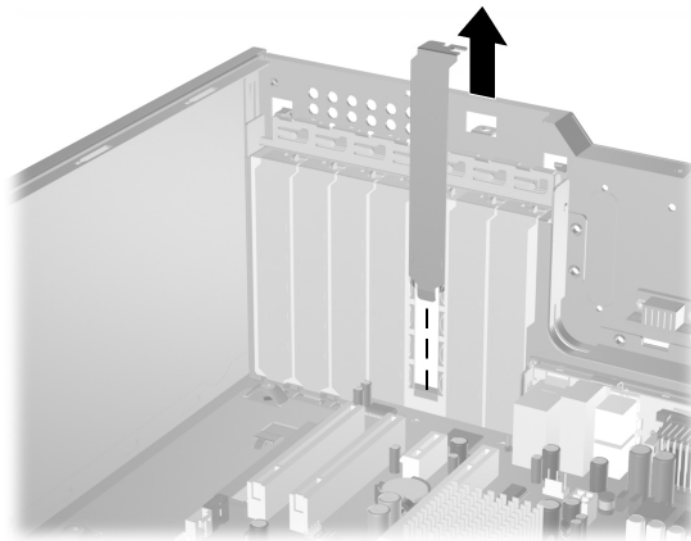
1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
4. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
5. システム ボード上の空いている適切な拡張ソケット、およびそれに対応するコンピュータのシャーシ背面にある拡張スロットの位置を確認します。
6. シャーシ内部にある 2 つの緑色のタブを下に押してから押し出し、拡張カード固定ラッチを上回転させます。



拡張スロットの固定ラッチを開く



7. 新しい拡張カードを取り付ける前に、拡張スロット カバーまたは装着されている拡張カードを取り外します。
  - a. 拡張カードを空いているソケットに取り付ける場合は、シャーシ背面の適切な拡張スロット カバーを取り外します。拡張スロット カバーを拡張スロット から引き上げます。



拡張スロット カバーの取り外し

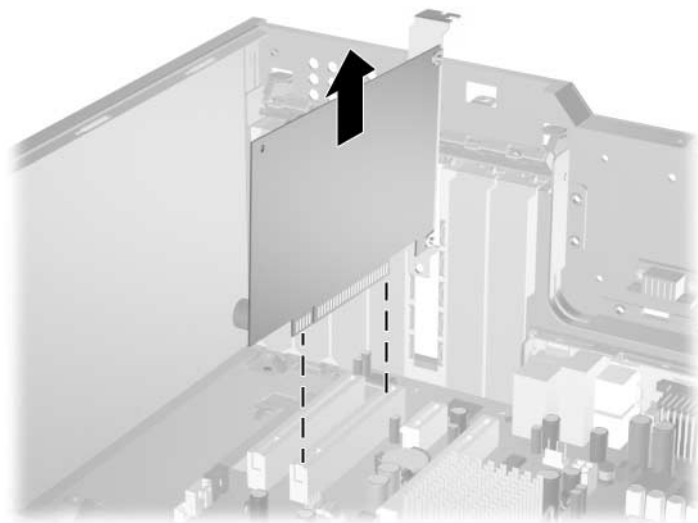
- b. 標準のPCIカードを取り外す場合は、カードの両端を持ち、コネクタがスロットから抜けるまで、カードを前後に注意深く軽く揺さぶりながら引き抜きます。拡張カードをソケットから真上に引き上げて取り外します。このとき、カードが他のコンポーネントと接触して傷が付かないようにしてください。



---

取り付けられている拡張カードを取り外す前に、拡張カードに接続されているすべてのケーブルを取り外します。

---

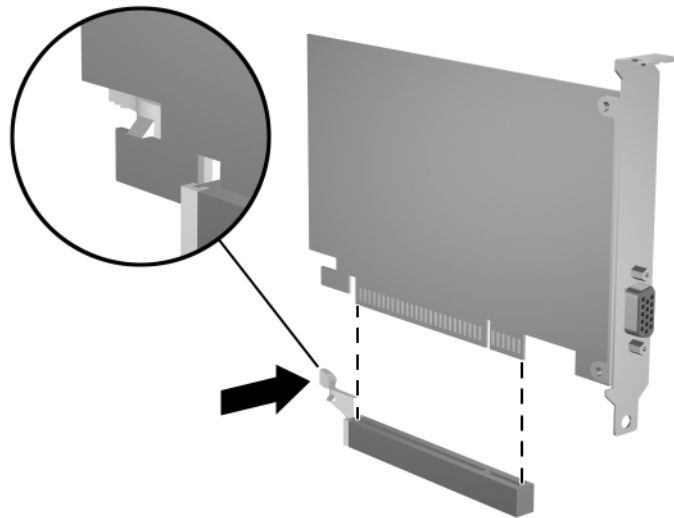


標準のPCIカードの取り外し

- c. PCI Expressカードを取り外す場合は、拡張ソケットの後部にある留め具をカードから引き離し、コネクタがスロットから抜けるまで、カードを前後に注意深く軽く揺さぶりながら引き抜きます。カードを真上に持ち上げて取り外します。このとき、カードが他のコンポーネントと接触して傷が付かないようにしてください。



取り付けられている拡張カードを取り外す前に、拡張カードに接続されているすべてのケーブルを取り外します。



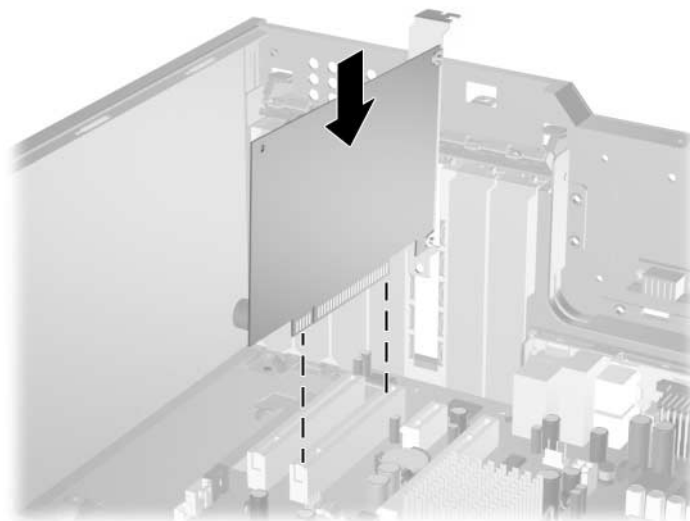
PCI Express拡張カードの取り外し

8. 静電気の影響を受けない容器にカードを保管します。
9. 新しい拡張カードを取り付けない場合は、空いたスロットを閉じるために、拡張スロット カバーを取り付けます。



**注意：**拡張カードを取り外したら、コンピュータ内部の温度が上がりすぎないようにするために、新しいカードまたは拡張スロット カバーと交換してください。

- 新しい拡張カードを取り付けるには、カードの端にあるブラケットをシャーシ背面のスロットにスライドさせ、カードをシステム ボードのソケットにしっかりと押し込みます。



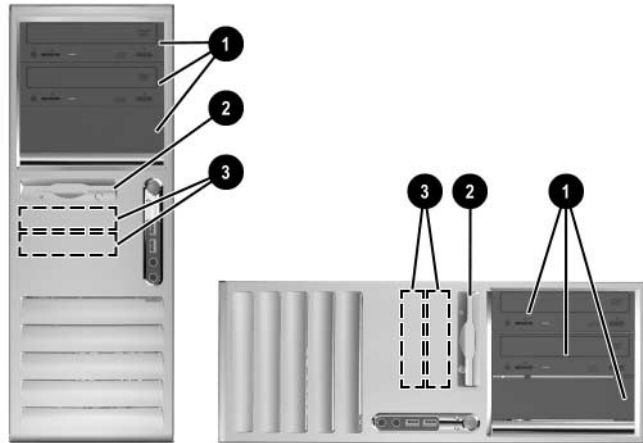
拡張カードの取り付け



拡張カードを取り付けるときは、コネクタ全体が拡張カード ソケットに正しく固定されるように、カードをしっかりと押し込んでください。

- カチッという音がして所定の位置にしっかりと収まるように、拡張カード固定ラッチを閉じます。
- 必要に応じて、取り付けたカードに外部ケーブルを接続します。また、必要な場合は、システム ボードに内部ケーブルを接続します。
- コンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。
- 通常スマート カバー ロックを使用している場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマート カバー センサを有効にします。
- 必要な場合は、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの使用法について詳しくは、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

## ドライブの位置



縦置き時および横置き時のドライブの位置

①	5.25インチ、1/2ハイト オプション ドライブ用ベイ×3
②	標準3.5インチ、1/3ハイト ベイ×1(図は1.44 MBディスク ドライブ)*
③	3.5インチ、1/3ハイト ベイ×2 : 内蔵ハードディスク ドライブ用

\*コンピュータの構成によっては、この位置にドライブ ベイ カバーがあります。

コンピュータに取り付けられている記憶装置の種類およびサイズを確認するには、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを実行します。詳しくは、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

## ドライブの増設

お使いのコンピュータでは、最大6つのドライブをさまざまな構成で取り付けることができます。

ドライブを増設するには、以下のガイドラインに従ってください。

- 最初に取り付けるシリアルATA (SATA) ハードディスク ドライブは、システム ボード上でP60 SATA 0と書かれているプライマリSATAコントローラに接続します。2つ目のSATAハードディスク ドライブは、P61 SATA 1と書かれているセカンダリSATAコントローラに接続します。3台目のSATAドライブはP62 SATA 2コネクタ、4台目のSATAドライブはP63 SATA 3コネクタに接続します。
- オプティカル ドライブ、IDEテープ ドライブ、ZipドライブなどのパラレルATA (PATA) 拡張デバイスは、標準の80芯ケーブルを使用して、P20 PRIMARY IDEと書かれているPATAコントローラに接続します。
- 1/3 ハイトまたは1/2 ハイトのどちらのドライブも取り付けることができます。
- ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用ネジを取り付ける必要があります。予備のガイド用ネジはコンピュータに付属しています。ハードディスク ドライブに取り付けるNo.6-32インチネジは、アクセス パネルの下のハードディスク ドライブ ブラケットに4本付属しています。その他のドライブに取り付けるM3メートル式ネジ (ミリネジ) は、アクセス パネルの下のディスク ドライブ ブラケットに8本付属しています。ミリネジは黒く、インチネジは銀色です。



**注意：**データの損失およびコンピュータまたはドライブの破損を防ぐために、次の点に注意してください。

- ハードディスク ドライブを着脱する場合は、必ず、すべてのアプリケーションおよびオペレーティングシステムを終了し、コンピュータの電源を切ってから行ってください。コンピュータの電源が入っている場合またはスタンバイ モードになっている場合は、絶対にハードディスク ドライブを取り外さないでください。
- ドライブを取り扱う前に、身体にたまった静電気を放電してください。ドライブを持つ際は、コネクタに手を触れないようにしてください。静電気対策について詳しくは、「付録D 静電気対策」を参照してください。
- ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落とさないでください。
- ドライブを挿入するときは、無理な力を加えないでください。
- ハードディスク ドライブは、液体や高温にさらさないようにしてください。また、モニタやスピーカなどの磁気を発生する装置から遠ざけてください。
- ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノー取り扱い注意」と明記してください。

## オプティカル ドライブまたはその他のリムーバブル メディア ドライブの取り付け



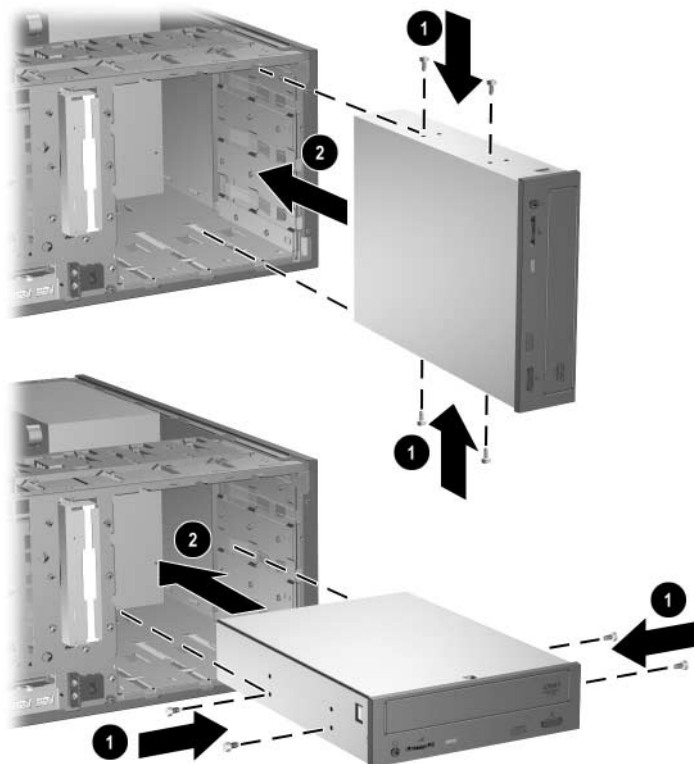
オプティカル ドライブは、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD+R/RW、またはCD-RW/DVDコンボ ドライブを指します。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
3. フロント パネルを取り外します。

4. ドライブの両側にある穴のうち下部の穴に、2本のガイド用ネジを取り付けます①。



光学ドライブおよびディスク ドライブにはミリネジを使用します。予備のミリネジは、アクセス パネルの下のディスク ドライブ ブラケットに8本付属しています。ミリネジの色は黒です。



縦置き時（上）および横置き時（下）のコンピュータでの  
5.25インチ ドライブの取り付け

5. ドライブをドライブ ケージの前面にスライドさせて②、ドライブ ベイに取り付けます。ドライブが所定の位置に収まると、ドライブロック機能によって自動的に固定されます。





**注意：**一番下の5.25インチ ドライブ ベイは、上部の2つのベイより奥行きが短くなっています。一番下のベイは、ドライブの背面に接続するケーブルを含めた奥行きが17 cm以下のドライブに対応しています。オプティカル ドライブやマルチベイ ドライブなど、それより大きいドライブを一番下のドライブに無理に押し込まないでください。無理に押し込むと、ドライブおよびシステム ボードが破損するおそれがあります。

ドライブを取り付ける際に強く力を加えすぎると、ドライブが破損することがあります。



3台目のオプション ドライブを一番下の5.25インチ ドライブ ベイに取り付ける場合、IDEコントローラおよびデータ ケーブル (別売) を接続した拡張カードも取り付ける必要があります。これは、セカンダリIDEコントローラが2台のドライブにしか対応しないためです。



3台目のオプション ドライブを取り付ける場合は、予備の電源コネクタを束ねているひもを取り外す必要があります。

6. オプティカル ドライブの背面から電源ケーブルと信号ケーブルを抜き取ります。



ドライブ ケーブルの接続

7. フロント パネルの内側のサブパネルから適切なドライブ ベイ カバーを取り外します。詳しくは、「[ドライブ ベイ カバーの取り外し](#)」を参照してください。
8. コンピュータのアクセス パネルおよびフロント パネルを取り外します。
9. 通常スマート カバー ロックを使用している場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマート カバー センサを有効にします。
10. 必要な場合は、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの使用法について詳しくは、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

### 3.5 インチ ドライブ ベイへのSATAハードディスク ドライブの取り付け

---



新しいハードディスク ドライブにデータを移動できるように、ハードディスク ドライブを取り外す前にドライブ内のデータをバックアップしてください。

---

3.5 インチ ドライブ ベイにハードディスク ドライブを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをAC コンセントから抜き、コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
3. 4本のNo.6-32インチネジを、ドライブの両側に2本ずつ取り付けます。

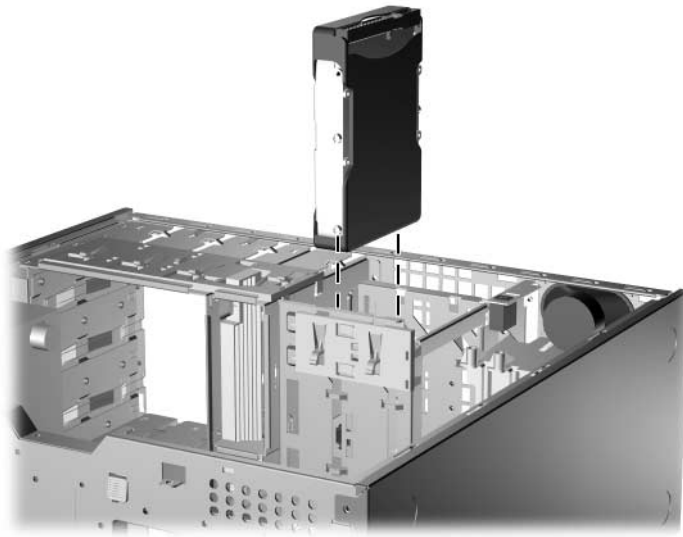


ハードディスク ドライブのガイド用ネジの取り付け



ハードディスク ドライブにはNo.6-32インチネジを使用します。予備のインチネジは、アクセス パネルの下ハードディスク ドライブ ブラケットに4本付属しています。インチネジの色は銀色です。

4. ハードディスク ドライブをドライブ ケージに差し込みます。ドライブが所定の位置に収まると、ドライブロック機能によって自動的に固定されます。

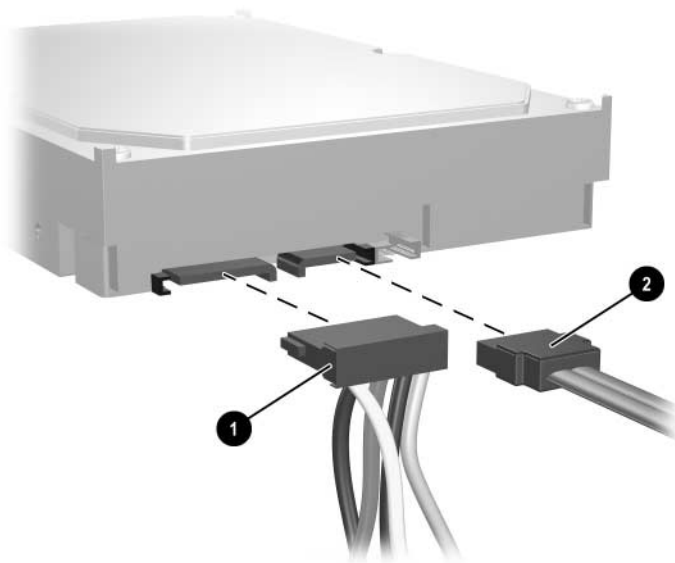


ハードディスク ドライブ ベイへのハードディスク ドライブの取り付け



**注意:** ドライブ ケージ内でガイド用ネジがガイド用スロットとかみ合っていることを確認します。ドライブを取り付ける際に強く力を加えすぎると、ドライブが破損することがあります。

5. 電源ケーブル①およびデータ ケーブル②をハードディスク ドライブに接続します。



SATAハードディスクドライブへの  
電源ケーブルおよびデータ ケーブルの接続

6. データ ケーブルのもう一方の端をシステム ボードの適切なコネクタに接続します。



交換用ハードディスク ドライブのキットには、数本のデータ ケーブルが付属しています。出荷時に取り付けられていたケーブルと同じものを使用するようにしてください。



SATAハードディスク ドライブが1台の場合は、パフォーマンスへの悪影響を防ぐため、**P60 SATA 0**と書かれているコネクタにドライブを接続してください。2台目のハードディスク ドライブを取り付ける場合は、データ ケーブルを、システム ボードの**P61 SATA 1**と書かれているコネクタに接続します。

7. コンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。
8. 通常スマート カバー ロックを使用している場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマート カバー センサを有効にします。

9. 必要な場合は、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの使用法について詳しくは、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。



メイン ハードディスク ドライブを交換した場合は、Restore Plus! CDを挿入して、オペレーティング システムとソフトウェア ドライバ、およびコンピュータにプリインストールされていたその他のソフトウェア アプリケーションを復元します。手順については、Restore Plus! CDに収録されているガイドを参照してください。復元処理が完了したら、バックアップを作成しておいた個人用のファイルをコンピュータにコピーしてから、ハードディスク ドライブを元に戻します。

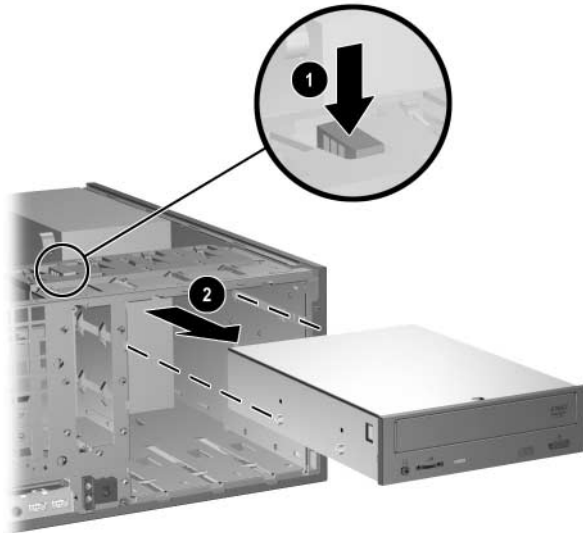
## ドライブ ベイからのドライブの取り外し

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータを再起動してから、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
3. フロント パネルを取り外します。
4. 電源ケーブルおよびデータ ケーブルをドライブの背面から取り外します。



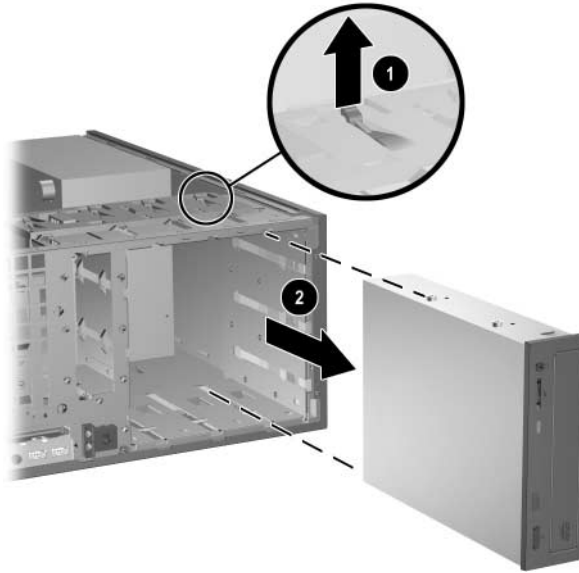
**注意：**ケーブルの損傷を防ぐため、ケーブルを取り外すときは、ケーブルではなくタブまたはコネクタを引っ張ります。

5. ドライブをドライブ ベイから取り外すには、以下の手順で操作します。
- 横置きのコМПユータからオプティカルドライブを取り外すには、黄色のドライブロックを押し下げて❶、ドライブをドライブ ベイから引き出します❷。



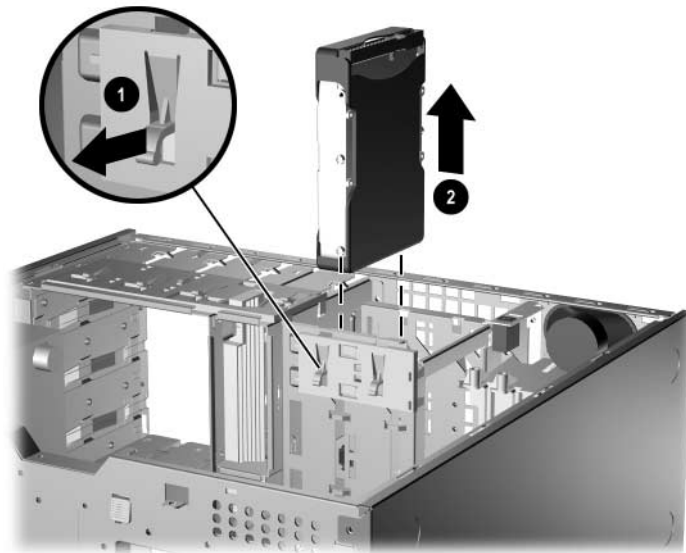
横置きのコМПユータからのオプティカルドライブの取り外し

- 縦置ききのコンピュータからディスク ドライブまたはオブティカル ドライブを取り外すには、取り外すドライブに対応する緑色のドライブロックを引き上げて①、ドライブをドライブ ベイから引き出します②。



縦置ききのコンピュータからのディスク ドライブまたはオブティカル ドライブの取り外し（図はオブティカル ドライブ）

- ハードディスク ドライブを取り外すには、取り外すドライブに対応する緑色のドライブロックを引き上げて①、ドライブをドライブ ベイから引き出します②。



ハードディスク ドライブの取り外し

6. 取り外したドライブを、静電気の影響を受けない容器に保管します。



## マルチベイ オプションの使い方

マルチベイは、一部のコンピュータ モデルにオプションとしてあらかじめ装備されている特別なドライブ ベイで、さまざまな種類の12.7 mm リムーバブル ドライブ（オプション）を取り付けることができます。

- マルチベイ用CD-ROMドライブ\*
- マルチベイ用CD-RWドライブ
- マルチベイ用DVD-ROMドライブ
- マルチベイ用CD-RW/DVD-ROMコンボ ドライブ
- マルチベイ用SMARTハードディスク ドライブ

\*ホットプラグまたはホットスワップが可能



マルチベイ オプションを取り付けるときは、「[オプティカル ドライブまたはその他のリムーバブル メディア ドライブの 取り付け](#)」の手順に従ってください。



マルチベイ オプションを取り付けるときは、データ ケーブルを、システムボード上の使用していないPATAコネクタに接続してください。適切なコネクタに接続しないと、POSTエラー メッセージが表示されます。



**注意：**データの損失やコンピュータまたはドライブの破損を防ぐために、次の点に注意してください。

- ドライブを取り扱う前に、身体にたまった静電気を放電してください。ドライブを持つ際は、コネクタに手を触れないようにしてください。
  - ハードディスク ドライブ以外の各種ドライブの運搬、輸送、保管、または取り外しの際は、**CD-ROM**や**DVD-ROM**などのメディアが取り出され、メディアトレイが閉じていることを確認してください。
  - ドライブは慎重に取り扱ってください。ドライブを挿入するときに無理な力を加えたり、ドライブを落としたり、カバーの上部を押したりしないでください。
  - ハードディスク ドライブは、液体や高温にさらさないようにしてください。また、モニターやスピーカなどの磁気を発生する装置から遠ざけてください。
  - ドライブを郵送するときは、発泡ビニールシートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノー取り扱い注意」と明記してください。
- 

## マルチベイ ドライブの「ホットプラグ」または「ホットスワップ」

---



**注意：**ハードディスク ドライブを着脱する場合は、コンピュータ、ドライブ、およびドライブに保存されたデータの損傷を防ぐために、必ずコンピュータの電源を切ってから行ってください。コンピュータの電源が入っている場合またはスタンバイ モードになっている場合は、絶対にハードディスク ドライブを取り外さないでください。コンピュータがスタンバイ モードになっていないことを確認するには、コンピュータの電源を入れてからシャットダウンします。

---

HPから提供され、プリインストールされているオペレーティング システムを実行している場合は、コンピュータの電源がオン、オフ、またはスタンバイ状態のときに、**CD-ROM**ドライブを着脱することができます。

---



**注意：**コンピュータの電源が入っているときにオプティカル ドライブを取り付けた場合は、コンピュータを再起動して、録音用や録画用、バックアップ用、またはビデオ再生用のソフトウェア アプリケーションを使用したときにオプティカル ドライブが正しく機能することを確認してください。

---

## マルチベイの固定ネジの取り外し

マルチベイの固定ネジを取り付けると、マルチベイに取り付けられたドライブを取り外せないようにするために、マルチベイ イジェクト レバーが使用できなくなります。

マルチベイに取り付けられているドライブを取り外すには、まず、取り付けられている固定ネジがあればFailSafeキーを使用して取り外します。



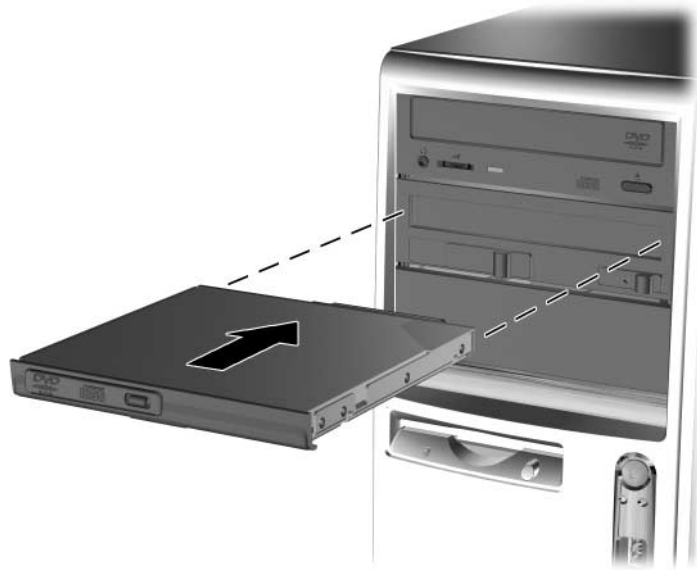
お使いのコンピュータにFailSafeキーが付属していない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。



マルチベイの固定ネジの取り外し（図はレンチ形のキー）

## マルチベイへのドライブの挿入

1. CDなどのリムーバブル メディアをドライブから取り出します。
2. CD-ROMドライブのホットスワップを行わない場合は、すべてのソフトウェア アプリケーションを終了し、オペレーティング システム ソフトウェアをシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
3. ドライブの上の面を上に向け、ドライブ コネクタをコンピュータに向けてドライブをマルチベイに挿入し、電気コネクタが正しく接続されるようにしっかりと押し込みます。



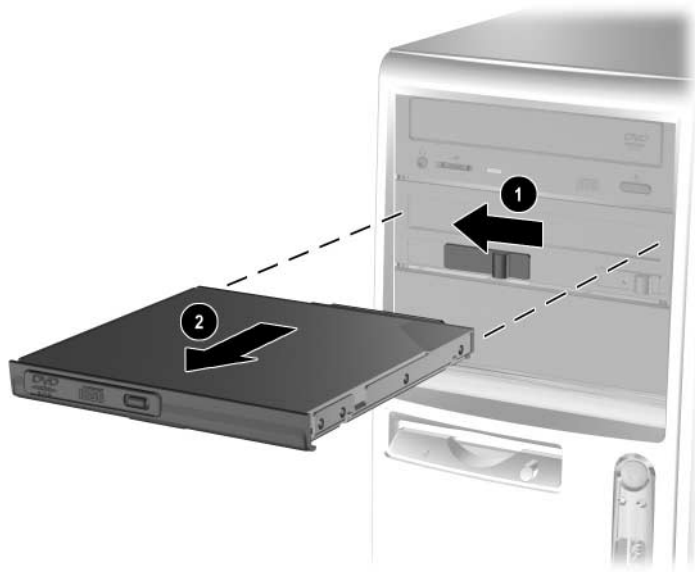
マルチベイへのドライブの挿入

4. コンピュータの電源が入っているときにオプティカル ドライブを取り付けた場合は、コンピュータを再起動して、録音用や録画用、バックアップ用、またはビデオ再生用のソフトウェア アプリケーションを使用したときにオプティカル ドライブが正しく機能することを確認してください。
5. 必要に応じて、マルチベイ固定ネジを取り付けます。詳しくは、「[マルチベイの固定ネジの取り外し](#)」を参照してください。

ドライブが動作しない場合は、適切なデバイス ドライバがシステムにインストールされていることを確認してください。必要なドライバがインストールされていない場合は、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/jp>から無料でダウンロードすることができます。

## マルチベイからのドライブの取り外し

1. CDなどのリムーバブル メディアをドライブから取り出します。
2. オプティカル ドライブを取り外す前に、Windows のタスクバーにある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを使用してドライブを停止します。
3. CD-ROMドライブのホットスワップを行わない場合は、すべてのソフトウェア アプリケーションを終了し、オペレーティング システム ソフトウェアをシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
4. マルチベイの固定ネジが取り付けられている場合は、取り外します。マルチベイの固定ネジを取り外す方法については、「[マルチベイの固定ネジの取り外し](#)」を参照してください。
5. イジェクト レバーを左にスライドさせて①、マルチベイからドライブを取り外します②。



マルチベイからのドライブの取り外し

## マルチベイ用ハードディスク ドライブのパーティション分割 およびフォーマット



この手順を完了するには、Administrator 権限を持つアカウントでログオンする必要があります。

---

1. すべてのソフトウェア アプリケーションを終了し、オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンして、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 「[マルチベイへのドライブの挿入](#)」の手順に従って、マルチベイ用ハードディスク ドライブをマルチベイに挿入します。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. [スタート]メニューをクリックします。
5. [マイ コンピュータ]アイコンを右クリックし、[管理]をクリックします。
6. [記憶域]をクリックし、[ディスクの管理]をダブルクリックします。
7. マルチベイ ハードディスク ドライブの未割り当て領域を右クリックし、[新しいパーティション]をクリックします。画面に表示されるメッセージをよく読み、指示に従って操作します。

詳しくは、[操作]→[ヘルプ]の順に選択して表示されるオンライン ヘルプを参照してください。

---

**HP Compaq dc7100 MT**

---

**寸法（横置き時）**

高さ	16.7 cm
幅	44.8 cm
奥行き（コンピュータにポート セキュリティ ブラケットが装備されている場合、奥行きは増加します）	45.2 cm

**寸法（縦置き時）**

高さ	44.8 cm
幅	16.7 cm
奥行き（コンピュータにポート セキュリティ ブラケットが装備されている場合、奥行きは増加します）	45.2 cm

**質量（概算）**

15.9 kg

**最大荷重（横置き時のみ）**

45.5 kg

**温度範囲**

動作時	10～35°C
非動作時	-30～60°C

**相対湿度（結露せず）**

動作時	10～90%
非動作時（38.7°C最高、湿球）	5～95%

**動作保証高度（非圧縮）**

動作時	3048 m
非動作時	9144 m



動作温度は、継続的に直射日光の当たらない環境で、海拔3000 mまで300 mごとに1.0°C下がります。最大変化率は10°C/時です。取り付けられたオプションの種類および数によって、上限が異なります。

HP Compaq dc7100 MT（続き）

放熱効率		
最大	1,785 BTU/時	450 kg-cal/時
通常（非動作時）	340 BTU/時	86 kg-cal/時
電源	<b>115 V</b>	<b>230 V</b>
動作電圧*	90～264 VAC	90～264 VAC
定格電圧範囲	100～240 VAC	100～240 VAC
周波数	50/60 Hz	50/60 Hz
電源出力	340 W	340 W
定格入力電源（最大）*	6 A（100 VACの場合）	3 A（200 VACの場合）

\*このシステムは、電圧自動補正電源を採用しています。これにより、欧州連合加盟国でこのシステムを使用する場合のCEマークの要件を満たしています。また、入力電圧の選択スイッチは不要なため搭載されていません。



---

## バッテリーの交換

お使いのコンピュータに付属のバッテリーは、リアルタイム クロックに電力を供給するためのものです。バッテリーを交換するときは、コンピュータに最初に取り付けられていたバッテリーと同等のバッテリーを使用してください。コンピュータに付属しているバッテリーは、3 Vのボタン型リチウム バッテリーです。



リチウム バッテリーの寿命は、コンピュータをACコンセントに接続することで延長できます。リチウム バッテリーは、コンピュータがAC電源に接続されていない場合にのみ使用されます。



**警告：**お使いのコンピュータには、二酸化マンガン リチウム電池が内蔵されています。バッテリーの取り扱いを誤ると火災や破裂などの危険があるので以下のことを守ってください。

- バッテリーを充電しないでください。
- バッテリーを60℃を超える場所に放置しないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 交換用のバッテリーは、必ずHPが指定したものを使用してください。



**注意：**バッテリーを交換する前に、コンピュータのCMOS設定のバックアップを作成してください。バッテリーが取り出されたり交換されたりするときに、CMOS設定がクリアされます。CMOS設定のバックアップ作成については、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。



バッテリーを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。



**注意：**静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックを解除し、スマート カバー センサを無効にします。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外して、コンピュータのアクセス パネルを取り外します。

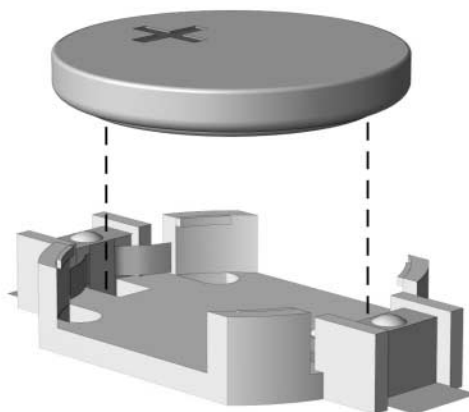


バッテリーを交換する際に、拡張ボードを取り外す必要がある場合があります。

3. システム ボード上のバッテリーおよびバッテリー ホルダの位置を確認します。
4. システム ボード上のバッテリー ホルダのタイプに応じて、以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

### タイプ1

- a. バッテリーをホルダから持ち上げて外します。

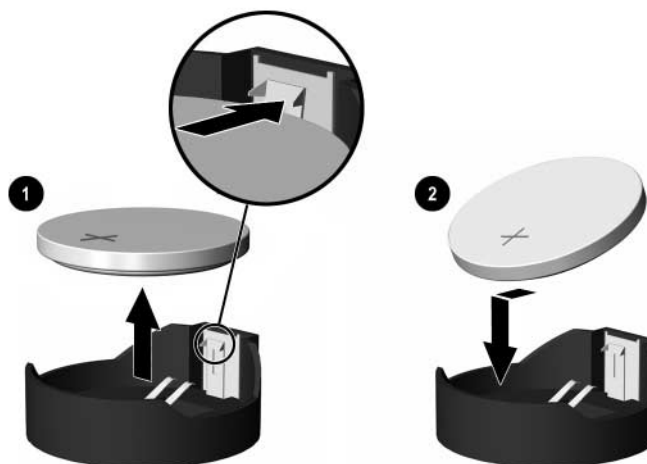


ボタン型バッテリーの取り出し (タイプ1)

- b. 交換するバッテリーを、「+」と書かれている面を上にして正しい位置に装着します。バッテリーはバッテリー ホルダによって自動的に正しい位置に固定されます。

## タイプ2

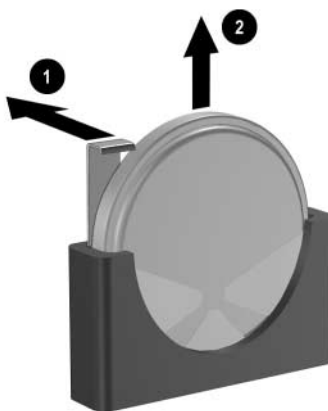
- a. バッテリーをホルダから取り出すために、バッテリーの一方の端の上にある留め金を押し上げます。バッテリーが持ち上がったら、持ち上げて取り出します①。
- b. 新しいバッテリーを装着するには、交換するバッテリーを、「+」と書かれている面を上にしてホルダにスライドさせて装着します。バッテリーの一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます②。



ボタン型バッテリーの取り出しと装着（タイプ2）

### タイプ3

- a. バッテリーを固定しているクリップを後方に引いて①、バッテリーを取り出します②。
- b. 新しいバッテリーを挿入し、クリップを元の位置に戻します。



ボタン型バッテリーの取り出し（タイプ3）



---

バッテリーを交換したら、以下の手順で操作して交換作業を完了します。

---

5. コンピュータのアクセス パネルを、元のとおりに取り付けます。
6. 電源ケーブルを元のとおりに接続し、コンピュータの電源を入れます。
7. コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステム セットアップを設定しなおします。Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。
8. 通常スマート カバー ロックを使用している場合は、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用してロックしなおし、スマート カバー センサを有効にします。

## セキュリティ ロック

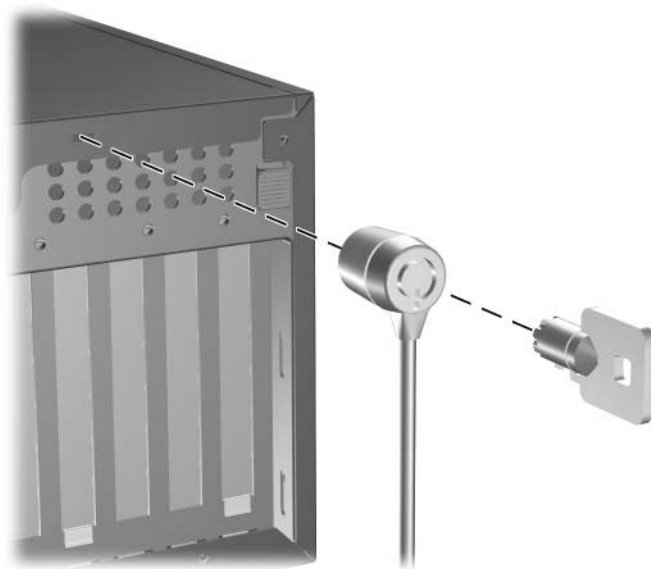
### セキュリティ ロックの取り付け

下の図および次ページの図に示すセキュリティ ロックは、縦置き/横置き共用型コンピュータを保護するために使用できます。



ポート セキュリティ ブラケット (図には示されていません) も使用できます。詳しくは、<http://www.hp.com/jp>を参照してください。

### ケーブル ロック



ケーブル ロックの取り付け

## 南京錠



コンピュータの施錠

## ユニバーサル シャシー クランプ ロック

### セキュリティ ケーブルを使用しない場合

1. キーボードとマウスのケーブルを錠に通します。



2. 付属のネジを使用して、錠をコンピュータ本体に固定します。



3. 栓を差し込み①、ボタンを押し込んでロックします②。ロックを外すには、付属の鍵を使用します。





## セキュリティ ケーブルを使用する場合

1. セキュリティ ケーブルを固定物に巻きつけます。



2. キーボードとマウスのケーブルを錠に通します。



3. 付属のネジを使用して、錠をコンピュータ本体に固定します。



4. セキュリティ ケーブルの端の栓を差し込み①、ボタンを押し込んでロックします②。ロックを外すには、付属の鍵を使用します。



---

## 静電気対策

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。

### 静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

## アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピュータのシャーシにアース バンドをつなぎます。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アース バンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアース バンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアース バンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。



---

静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

---

---

## コンピュータの手入れと運搬時の注意

### コンピュータの手入れ

コンピュータとモニタが安定して動作するよう、以下のことを守ってください。

- コンピュータは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピュータの背面とモニタの上部に、少なくとも10.2 cmの空間を確保してください。
- コンピュータのカバーやサイド パネルを取り外したまま使用しないでください。
- 内部への通気が悪くなるので、絶対にコンピュータの正面にある通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロント パネルに立てかけることも、お止めください。
- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。コンピュータを使用する際に推奨される温度範囲と湿度範囲については、このガイドの「[付録A 仕様](#)」を参照してください。
- コンピュータ本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニタ上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- 以下の項目については、必ずコンピュータの電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてから行ってください。
  - コンピュータやモニタの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、けばだたない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
  - コンピュータの正面と背面の通気孔やモニタ上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

## オプティカルドライブの使用上の注意

オプティカルドライブの操作や手入れは、次の項目に注意して行ってください。

### 操作および取り扱いに関する注意

- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがあるので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光が当たる場所、または機械の振動がある所には置かないでください。

### クリーニングの際の注意

- フロント パネルやスイッチ類が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。決して、クリーニング液を直接スプレーしないでください。
- アルコールやベンジンなど、揮発性の液体を使用しないでください。変色や、変質の原因となります。

### 安全にお使いいただくためのご注意

ドライブの中に異物や液体が入ってしまった場合は、直ちにコンピュータの電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いて、HPのサポート窓口にて点検を依頼してください。

## 運搬時の注意

コンピュータを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスク内のファイルのバックアップをCD、テープ、カートリッジ、またはディスクットにとります。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないよう気をつけます。



ハードディスク ドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. ディスクット ドライブにディスクットが挿入されている場合は取り出して、別の空のディスクットを挿入して運搬中のドライブを保護します。データを保存したディスクットや保存する予定のディスクットは使用しないでください。
3. オプティカル ドライブにメディアが挿入されている場合は取り出します。
4. コンピュータと外部装置の電源を切ります。
5. ACコンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピュータからも抜き取ります。
6. 外部装置の電源コードをACコンセントから抜いてから、外部装置からも抜き取ります。



すべてのボードがスロットにしっかりとはめ込まれていることを確認します。

7. お買い上げの時にコンピュータが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピュータとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。



運搬中の環境条件については、このガイドの「付録A 仕様」の非動作時の項目を参照してください。





# 索引

<b>A</b>			
[Alt]キー	1-4	アクセス パネルのロック解除	2-2, C-1
<b>C</b>		アプリケーション キー	1-4
CD-ROMドライブ		インストール	
「オプティカル ドライブ」を参照		ソフトウェアの復元	2-29
[Ctrl]キー	1-4	運搬時の注意	E-3
<b>D</b>		オーディオ コネクタ	1-2, 1-3
DDR-SDRAM	2-9	オプティカル ドライブ	
DIMM		ガイド用ネジ	2-24
「メモリ」を参照		ガイドライン	E-2
DVD-ROMドライブ		クリーニング	E-2
「オプティカル ドライブ」を参照		使用上の注意	E-2
<b>P</b>		取り出しボタン	1-2
PCIカード		取り付け	2-23
「拡張カード」を参照		マルチベイ	2-34
<b>R</b>		<b>か</b>	
RJ-45コネクタ	1-3	拡張カード	
<b>S</b>		PCI	2-15
SATA		PCI Express	2-15, 2-19
ケーブルの接続	2-28	スロットの位置	2-15
ハードディスク ドライブの取り付け	2-26	取り付け	2-15
<b>U</b>		取り外し	2-15
USBポート		拡張スロット カバー	
フロント パネル	1-2	取り付け	2-19
リア パネル	1-3	取り外し	2-17
<b>W</b>		各部	
Windowsロゴ キー		キーボード	1-4
位置	1-4	フロント パネル	1-2
機能	1-5	リア パネル	1-3
<b>あ</b>		[カタカナ ひらがな]キー	1-4
アクセス パネル		キーボード	
取り外し	2-4	各部	1-4
ロックおよびロック解除	2-2, C-1	ポート	1-3
		固定ネジ、マルチベイ	2-35
		コンピュータ	
		アクセス パネル	2-4
		運搬時の注意	E-3

機能	1-1	取り付けに関するガイドライン	2-1
仕様	A-1	取り外し	
静電気による損傷の防止	D-1	拡張カード	2-15
セキュリティ ロック	2-2, C-1	拡張スロット カバー	2-17
ソフトウェアの復元	2-29	コンピュータのアクセス パネル	2-4
縦置きから横置きへの変更	1-7	スマート カバー ロック	2-2
手入れ	E-1	ドライブ ベイ カバー	2-8
横置きから縦置きへの変更	1-10	ドライブ ベイからのドライブの取り外し	2-29
コンピュータの構成の変更	1-7, 1-10	バッテリー	B-1
<b>さ</b>		フロント パネル	2-6
仕様		マルチベイ ドライブ	2-37
コンピュータ	A-1	<b>な</b>	
メモリ	2-9	内部コンポーネント、アクセス	2-4
シリアル コネクタ	1-3	<b>は</b>	
シリアル番号の記載位置	1-6	ハードディスク ドライブ	
ステータス ランプ	1-4	SATAケーブルの接続	2-28
スペース バー	1-4	SATAの取り付け	2-26
スマート カバー ロックとFailSafeキー	2-2	ガイド用ネジ	2-27
静電気の放電、損傷の防止	D-1	復元	2-29
製品識別番号の記載位置	1-6	マルチベイ	2-38
セキュリティ		ランプ	1-2
シャシー クランプ ロック	C-3	バッテリーの交換	B-1
スマート カバー ロック	2-2	パネル	
南京錠	C-2	「フロント パネル」を参照	
ロック ケーブル	C-1	パラレルATAデバイス	2-22
<b>た</b>		パラレル コネクタ	1-3
縦置き構成	1-10	[半角/全角]キー	1-4
ディスクレット ドライブ		フロント パネル	
取り付け	2-23	ドライブ ベイ カバー	2-8
ランプ	1-2	取り付け	2-7
電源	A-2	取り外し	2-6
ボタン	1-2	フロント パネルの各部	1-2
ランプ	1-2	ヘッドフォン コネクタ	1-2
電源コード コネクタ	1-3	ヘッドフォン/ラインアウト コネクタ	1-3
ドライブの位置	2-21	編集キー	1-4
取り付け		<b>ま</b>	
オプティカル ドライブ	2-23	マイク コネクタ	1-2, 1-3
ガイド用ネジ	2-22	マウス	
拡張カード	2-15	コネクタ	1-3
セキュリティ ロック	C-1	特殊機能	1-5
増設ドライブ	2-22	マルチベイ	
ディスクレット ドライブ	2-23	オプションのドライブ	2-33
ハードディスク ドライブ	2-26	オプティカル ドライブ	2-34
バッテリー	B-1	固定ネジの取り外し	2-35
メモリ	2-9, 2-14		

使用上の注意	2-34	ソケットへの取り付け	2-11
ドライブの挿入	2-36	取り付け	2-9
ドライブの取り外し	2-37	非対称モード	2-11
ドライブのホットプラグまたはホットスワッ プ	2-34	容量	2-9, 2-11, 2-14
ハードディスク ドライブのパーティション分 割およびフォーマット	2-38	モニタ コネクタ	1-3
マルチベイ ドライブのホットプラグまたはホッ トスワップ	2-34	<b>や</b>	
マルチベイ用ハードディスク ドライブ		矢印キー	1-4
フォーマット	2-38	横置き構成	1-7
パーティション分割	2-38	<b>ら</b>	
メモリ		リア パネルの各部	1-3
インタリーブ モード	2-11	リムーバブル ドライブ	2-33
周波数	2-10	ロゴ キー	1-4
仕様	2-9	ロック	
シングル チャネル モード	2-11	ケーブル ロック	C-1
ソケットの確認	2-12	シャシー クランプ ロック	C-3
		スマート カバー ロック	2-2
		南京錠	C-2

